



花で彩られる農村の景観



～農地・水保全管理支払交付金事業の活動を紹介～

現在全国的に集落の高齢化や混在化の進行により、農地や農業用水などの資源を守る地域のまとまりが弱まってきております。このような状況下で、農村環境を地域ぐるみで保全し、故郷の農村風景を守っていくことを目的として実施されている、「農地・水保全管理支払交付金事業」が7年目となり、本年度は計9集落が本事業に取り組んでおります。農道の補修や除草・用水の泥上げ等を共同で実施することにより、農村環境資源を保全するだけでなく、集落の結びつきが強まることにもつながっております。

本事業は、農村環境資源を魅力あるものにするために、農地や農道等を利用した花の植栽等の景観形成も行っており、取組の一部を紹介します。



郡地区) 農道路肩にコスモスが花開きました。地元の方だけでなく、電車の車窓からも見ることができ、乗客の目も楽しませました。



吉原地区) 町道沿いの農用地法面にヒマワリの花が植栽され、力強い花が咲き誇り、通りかかる人達に元気を与えました。



神宿地区) 神宿機場脇にマリーゴールド等が植栽されました。色とりどりに植えられた花は、農作業の疲れを和らげました。



立野地区) 通学路にもなっている県道沿いの水路脇に、アジサイ等の花きが植栽され、通学途中の児童・生徒にも憩いを与えました。